

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 高齢者が安心して暮らせる見守りの輪をさらに広げよう

【質問要旨】

2018年に策定された小平市地域包括ケア推進計画によると2015年の小平市での一人暮らし高齢者は8486世帯、高齢者夫婦が8517世帯でいずれも年々増加しています。小平市の推計によると団塊の世代が75歳になる2025年には75歳以上の人口が約2万7千人に増加することが見込まれています。

元気な高齢者がいきいきと地域活動や介護予防に励む一方で、身近に親族がおらず、近所づきあいもなく孤立している高齢者も存在します。また、人に頼ることを嫌い自分で頑張ってしまう方もいて、その結果、生活に支障をきたしてしまったり、認知症になっても気づかないでいる方もいます。周りが気づかず孤立死に至ってしまうようなことを防ぐためにも地域での高齢者を対象とした見守りが有効です。

2017年3月議会で「孤立を防ぐための高齢者見守り活動の拡充」について厚生委員会が政策提言をし「いきいきこだいら高齢者見守りの輪条例」が全会一致で成立しました。

今後増えていく高齢者が安心して地域で暮らしていくためにこの条例がどのように施策に生かされているか以下質問します。

- ① 市や相談窓口である地域包括支援センターは介護保険サービスを利用していない65歳以上の高齢者の実態をどの程度把握していますか。
- ② いつもと様子が違うなど心配に思う高齢者に気付いた時の相談先は市民に広く認知されていると思いますか。
- ③ 高齢者のしおりやリーフレットなどは高齢者や障がい者にもわかりやすく作られていますか。
- ④ 高齢者等見守りに関する協定を結んだ事業者とは連絡会など開催し情報交換をしていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年8月24日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

26	25	24	23